

委員会開催概要

回数		検討・確認内容	今後の課題
第5回 H18.5.16 プロミティ厚木	平成18年度試験施工の内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・工法のほかに面的な配置などの施工の仕方もあるため、今年度は工種を減らして配置等に焦点をあてたらどうか ・ネットで覆うものは、そのままでは、堆積したリターが土壌化に生かされないため、工夫が必要である。 ・面的対策のモニタリングをどう行うか、検討も必要である ・最終的にはシカ対策も生息環境管理も含めた全体の対策となるべきである ・既設の植生保護柵の耐久性を把握しなければならないのでは。設置基数が増えるほど維持管理コストがかかるため、保護柵の設置数量が限られる可能性がある ・保護柵の維持管理は、NPOの活用も考えてもらってよいのでは。 ・人工林での保護柵設置経験も踏まえて検討したらどうか ・大きく保護柵を囲んでその中の微地形に応じて部分的に筋工やリター捕捉工を設置したらどうか 	
	平成19年度以降の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・この委員会で検討している流域総合保全推進プランは、自然再生基本構想の中の「統合再生流域実施計画」の策定に反映させる。 	